

答えることはできないが影響を受けざるを得ないと見込んでいる。

23年以降という表現で答弁があつた。

市内の産業経済の活性化について



夢ウエル丸

夢ウエル丸のおり方についで、
ても鋭意検討する段階にあ
ると考へてゐる。

議員 具体的に夢ウエル丸をどうするのか。その時期について答えてもらいたい。
健康福祉部長 元気プランの5期計画の策定を進める中で、十分検討しながら計画していくたいと考えている

東日本大震災による笠岡市への財政的影響について

市政報告書の作成時期 はいつか

奥野泰久議員

新築家屋への100万円の助成金について、補助件数市内と市外の業者の割合等についてたずねる。

市長 平成22年度の補助件数は82件で、このうち、市内業者の受注件数は22件・8%となつてある。

市長 作業としては、平成22年度の事後評価の結果を踏まえて、8月から9月にかけて施策評価を実施する予定である。そして、9月議会の決算認定後、市政報告書の策定作業を始め、12月議会で報告できるよう進めていく予定である。

「システム」の眞の姿と公的責任について

議員 昨年6月に政府の示した「子ども・子育て新システム」は、保育基準の地域間格差、民間企業の参入を認める内容となっている市長の認識と今後の対応についてたずねる。

市長 このシステムは、すべての子どもへの良質な生育環境を保護することを目的にしており、主に幼児期の子ども関連施策が柱になっていると認識している。

今後、国の動向を見極めながら、地方の切実な声を積極的に国へ要望していくべきと考えている。

議員 指導要領が改定され
て小学校での授業時間が増
え、子どもたちも教員も大
きな負荷がかかってきてい
ると思う。こうした現状を
どうとらえ、楽しい学びの
場、教育条件の充実をどう
構築していくのか。

では、各学校で本年度の教育課程を検討する段階で、子どもたちの負担を軽減するよう配慮して編成している。教職員については、会議や研修・出張等を見直して負担軽減を図っている。学校と行政が一体となつて負担軽減を図り、楽しい学びの場や教育条件の充実を進めたい。

なサービスの引き下げにつながるものであつてはならないと考えている。今後、国から制度の詳細が示されたら、介護保険運営協議会等にも諮るなどしながら、慎重に考えていきたい。

